

国際文化交流フォーラム

自治体の 文化振興は どうあるべきか？

3月11日

生田文化会館
(神戸市中央区)

入場無料

— ドイツの先進事例から考える —

講演・事例報告とディスカッション ※詳細は裏面参照

- ◎講演・事例報告 ヴォルフガング・シュナイダー (ヒルデスハイム大学)
ドレーン・ゲツキー (ヒルデスハイム大学)
中川 幾郎 (帝塚山大学)
松本 茂章 (静岡文化芸術大学)
- ◎ディスカッサント ライナー・マンケ (大阪ドイツ文化センター)
- ◎司会 藤野 一夫 (神戸大学)

2013年3月11日【月】13:30より(13:00受付開始)

生田文化会館 神戸市中央区中山手通6丁目1-40(裏面に地図あり)

※神戸市営地下鉄「県庁前駅」西3番出口より徒歩約5分。

JR「元町駅」西改札、阪神電車「元町駅」西改札北出口、

神戸高速「花隈駅」東改札より徒歩約10分。

入場無料／要事前申込(先着200名)

■申込方法

お名前と連絡先(電話もしくはEメール)を明記の上、
下記までFAXもしくはEメールでお申し込み下さい。

神戸大学大学院国際文化学研究科
異文化研究交流センター

FAX: 078-803-7650

E-Mail: kobe.symp@gmail.com

主催: 神戸市、(公財)神戸市民文化振興財団、神戸大学大学院国際文化学研究科 異文化研究交流センター、大阪ドイツ文化センター

共催: 文化経済学会<日本>

後援: 明石市、(公財)明石文化芸術創生財団、豊中市、日本アートマネジメント学会、日本文化政策学会、社会文化学会、

アートサポートセンター神戸、(公財)神戸文化支援基金、神戸をほんまの文化都市にする会、(特)兵庫県子ども文化振興協会

企画・運営協力: 神戸大学大学院国際文化学研究科プロジェクト「グローバル化時代における文化的公共性の研究」、

神戸大アートマネジメント研究会



KOBE
UNESCO City of Design



国際文化交流フォーラム「自治体の文化振興はどうあるべきか？—ドイツの先進事例から考える—」開催趣旨

慢性的な財政難と行財政改革によって、先進国の自治体文化政策にも構造転換の荒波が押し寄せています。ドイツの公共文化予算は日本の 10 倍以上ですが、地方自治体が主体となってきた点では共通性があります。このフォーラムでは、日独の文化政策研究の第一人者をお招きし、地域主権にもとづく文化政策の先進国であるドイツの理念と実践事例をふまえて、自治体の文化振興は本来どうあるべきかについて、根本から考えてみたいと思います。

13 : 30 - 13:45 挨拶と趣旨説明

■ドイツの自治体文化政策

13 : 45 - 14:45 基調講演「文化が変える地域の社会と経済」 ドイツ語／通訳あり

ヴォルフガング・シュナイダー（ヒルデスハイム大学教授、同大学文化政策研究所所長）

14 : 45 - 15:45 事例報告「ドイツにおける地域文化振興計画の事例」 ドイツ語／通訳あり

ドレーン・ゲツキー（ヒルデスハイム大学助教、同大学文化政策研究所研究員）

— 休憩 15 分 —

■日本の自治体文化政策

16 : 00 - 16:20 基調講演「自治体文化政策の課題」 中川 幾郎（帝塚山大学教授）

16 : 20 - 16:40 事例報告「関西における官民協働の文化振興」 松本 茂章（静岡文化芸術大学教授）

16 : 40 - 17:40 総括ディスカッション（当日、ご来場の方にも質問用紙を配付致します）

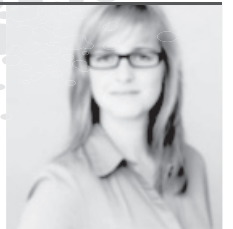
ヴォルフガング・シュナイダー Professor Dr. Wolfgang SCHNEIDER

ドイツ・ヒルデスハイム大学教授、同大学附属文化政策研究所所長。博士（フランクフルト大学）。フランクフルト大学、ミュンヘン大学、ハンブルク大学などで講師を務めた後、1997 年より現職。自治体文化政策、映画政策、演劇政策、児童のための文化政策から対外文化政策まで、幅広い領域を研究対象とするドイツで唯一の文化政策を専門とする専任大学教授。国際児童青少年演劇協会(ASSITEJ)ドイツセンター名誉会長、ドイツ連邦議会(ドイツにおける文化)諮問委員などを歴任。2012 年より、ヒルデスハイム大学文化政策研究所を拠点とする《Cultural Policy for the Arts in Development》のUNESCO チェアホルダー。



ドレーン・ゲツキー Doreen GÖTZKY

ドイツ・ヒルデスハイム大学助教、同大学附属文化政策研究所研究員。専門は地域文化政策、アートマネジメント、文化産業論。2003 年より 5 年に渡りヒルデスハイム郡文化局のアートマネージャーとして、僻地における文化政策戦略の調査、研究に携わる。2006 年より現職。2012 年 12 月に都市郊外の文化政策の主体と戦略に関する博士論文を提出。様々な政策領域の専門用語をコンパクトに解説する連邦政治教育センター編集のポケット政策辞典シリーズでは、文化政策関連の専門用語を解説した『ポケット文化。芸術と社会の A から Z』をヴォルフガング・シュナイダーとともに担当。



中川 幾郎

帝塚山大学法学部教授。大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了（国際公共政策）。専門は地方自治、まちづくり、文化・芸術と公共政策。著書に『分権時代の自治体文化政策—ハコモノづくりから総合政策評価に向けて』（勁草書房、2001 年）など。

松本 茂章

静岡文化芸術大学文化政策学部教授。全国紙記者を経て同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程（後期課程）修了（政策科学）。専門は自治体文化政策、まちづくり政策。単著に『官民協働の文化政策 人材・資金・場』（水曜社、2011 年）など。

